

<p>令和1年/2019</p> <p>No.34</p> <p>野口遵顕彰会</p>	<p>野口 遵</p> <p>顕彰会だより</p>	
---	---------------------------	---

ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

秋冷の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、「ジュニア科学スクール」事業を発案し担当委員長の山本俊幸様が、このたび「延岡市文化功労者」表彰を受賞しました。心からお祝いを申し上げます。

さて、今年度の各事業はいずれも計画通りに実施しています。『ジュニア科学者の翼』は今回で19回を数え、派遣中学生は延べ221名になりました。次年度（令和2年）の第20回は、夏休みの時期に国を挙げての東京オリンピック、パラリンピックが開催されて大変な混雑が予想されるため、実施を見送ることにしました。

『野口賞』は今回残念ながら応募がありませんでした。これまでに『野口賞』（金賞100万円）を受賞された方（2名）の「特別講演会」を新たに計画しました。

また、野口遵翁「生誕祭」は今回野口記念館の撤去工事に伴い、会場を旭化成向陽倶楽部と隣接する野口遵翁の銅像前に変更して実施し、野口遵翁の功績に感謝しました。さらに、昨年度から取り組んでいます「キャリア教育」は、“地元企業に学ぶ”を初めて企画しました。それぞれの事業の具体的な実施状況は別紙のとおりです。

野口遵顕彰会は、2年後には設立20周年を迎えます。これまでご支援をいただきました皆様方に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和1年11月

副読本マンガ版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市発展の功績を小学生のみなさんに知ってもらうために、分かりやすく親しみやすいようにマンガ風に再編集した副読本「のべおか新興の母 野口遵」（B5版）を、延岡市内の小学校28校の4年生全員に配付しました。（計1,235冊）



写真提供 夕刊デイリー新聞社

これは、延岡市教育委員会が小学校3・4年生に配付している副読本「わたしたちの郷土延岡市」の中に、“延岡にかかわる偉人”のひとりとして野口遵翁が取り上げられています。小学生の皆さんが学習する際に、野口遵翁をより理解するのに役立ててもらえればとの思いで配付しているものです。

各小学校では朝の読書の時間や総合学習の時間などに活用しています。なお、今回で5回目の配付となりましたが、来年以降も続けて4年生全員に配付します。

青少年科学技術派遣研修事業

《第19回『ジュニア科学者の翼』》

”青少年に科学への夢と希望を育む事業”として毎年夏休みに実施していますが、今年も7月23日（火）から7月26日（金）の3泊4日の日程で実施しました。

延岡市、日之影町、高千穂町、門川町の中学校および五ヶ瀬中等教育学校の25校の中学2年生の中から選ばれた12名の皆さんを派遣しました（延221名になる）。



派遣研修生は事前研修（2日間）の後、関東地区にあります東芝未来科学館、野口研究所、科学技術館、日本科学未来館および今回は新たに「秋山仁の数学体験館」を訪問して、医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業などの最先端科学技術、そして数学の面白さについて研修しました。

また、事後研修（2日間）の後8月9日（金）の「報告会」では、研修生それぞれが

事前に決めた3つのテーマ別にパワーポイントを使ってその成果を分かりやすく発表しました。

そして各自の成果と感想について発表し、科学への関心が一層高まったこと、社会の発展にこれからもますます科学技術が必要なこと、知らない学校の人と行動を共にして自分と異なる考え方のあることを知ったこと、そして、コミュニケーションの大切さを痛感したこと・・・など、今回の体験を将来に生かしていきたいと報告しました。世界的に高いレベルの日本の科学技術に触れ、そして研究現場の様子を直接見聞きできたことは、参加した生徒の皆さんにとって貴重な財産となっています。

今回『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、野口研究所の「学修奨励金」授与者（第15回）に、旭中学校2年生 亀山真陽くんおよび北浦中学校2年生 磯田晴花さんが決まりました。亀山くんと磯田さんには、書籍や教材費の一助として高校入学時から3年間、毎年5万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子6名：女子6名）

氏 名	学 校・学 年	氏 名	学 校・学 年
十 亀 駿之丞	恒富中学校2年生	亀 山 真 陽	旭中学校2年生
渡 邊 成 美	西階中学校2年生	古 川 明 子	南中学校2年生
久壽米木 来 未	土々呂中学校2年生	高 野 龍 利	北方学園中学校2年生
磯 田 晴 花	北浦中学校2年生	白 川 悠太郎	北川中学校2年生
後 藤 清 香	高千穂中学校2年生	中 西 広 銘	五ヶ瀬中等教育学校2年生
茶 圓 七 海	尚学館中学校2年生	首 藤 大 智	聡明中学校2年生

※引率 黒木 知佳 延岡市立西階中学校 教諭

なお、令和2年（2020）の第20回『ジュニア科学者の翼』は、国を挙げて実施される東京オリンピックおよびパラリンピックの開催時期（7/24～9/6）と重なり東京を中心に大変な混雑が予想されます。不測の事態発生などの懸念が大きいため実施を見送り、令和3年（2021）に第20回としてあらためて計画いたします。

第5回「野口遵翁生誕祭」

《一延岡市と共催して開催一》

延岡市の文化の拠点として市民に親しまれてきた野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と当野口遵顕彰会が共催して、平成27年より開催しています。

今回は、野口記念館が新しく生まれ変わる工事に着手しており使用できないため、会場を旭化成向陽倶楽部および隣接する野口遵翁の銅像前に変更して開催しました。「生誕祭」は、主催者あいさつ、来賓あいさつに続いて『ジュニア科学者の翼』第18回（昨年）派遣研修生の中西彩弥子さん（聖心ウルスラ学園聡明中学校3年生）が若者代表としてメッセージを述べました。そして、野口遵翁の事業に対する信念や生き方を収録したDVDを皆さんに見てもらいました。

終わりに、隣接する野口遵翁の銅像前にて「野口遵翁への祝いの献花」等につき、出席者全員（約80名）が、野口遵翁の胸像に献花しその功績を偲び感謝しました。



第19回『野口賞』授与事業



第19回『野口賞』の応募案内をしましたが、残念ながら今回は応募がありませんでした。これまでに83件の応募がありましたが、授賞は次のとおりです。

- ◇「野口賞」（賞金100万円） 2件
- ◇「奨励賞」（賞金50万円） 10件
- ◇「奨励賞」（賞金30万円） 6件

これまでに「野口賞」（賞金100万円）を受賞されましたお二人の方々に、受賞されましたテーマについて、その後の進捗状況（結果）を報告していただく「講演会」を次の通り計画しました。

なお、この「講演会」は一般社団法人「宮崎県工業会」県北地区部会の例会を兼ねて共催で行います。

〈第1回〉

- ◇日時 令和1年12月6日（金） 17時～18時 講演会 ※終了後「懇親会」
- ◇場所 旭化成向陽クラブ ホール
- ◇講演者 「野口賞」第2回受賞者
九州保健福祉大学 教授 生命医科学部 学部長 医学博士 池脇信直様
- ◇講演テーマ 『産学連携において創出されたリソースのご紹介』

〈第2回〉

- ◇日 時 令和2年2月12日(水) 17時～18時 講演会 ※終了後「懇親会」
- ◇場 所 旭化成向陽クラブ ホール
- ◇講演者 「野口賞」第4回受賞者
宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅 光 様
- ◇講演テーマ
『ペプチドームを活用した新規ペプチドの探索と実用化』

『ジュニア科学スクール』

〈ペットボトルを使って風力発電機をつくる!!〉

平成25年から新しい事業として小学校5・6年生を対象に、実験や組立てなどを通して科学技術への関心を高め楽しみながら学習する機会として、『ペットボトルを使って風力発電機をつくる』をテーマに各小学校を訪問して実施しています。

ペットボトルを使って風車をつくり発電キットを組立て、それらを組み合わせて風力発電機が完成します。扇風機の風を当てるとこの発電機の風車が回ってLEDランプ(赤)が点灯することで発電を確認します。そして、この仕組みや電気についても学習しています。

〈実施した学校〉

(第37回)	令和1年 7月 8日(月)	延岡小学校6年生	75名
(第38回)	令和1年10月26日(土)	川島小学校6年生	31名
(第39回)	令和1年11月15日(金)	島野浦小学校5・6年生	6名

〈今後の計画〉

(第40回)	令和1年12月 6日(金)	東海東小学校6年生	69名
(第41回)	令和1年12月 7日(土)	旭小学校6年生	80名
(第42回)	令和2年 1月18日(土)	東小学校6年生	93名
(第43回)	令和2年 2月 1日(土)	南方小学校6年生	108名
(第44回)	令和2年 2月 7日(金)	北川小学校6年生	16名
(第45回)	令和2年 2月14日(金)	一ヶ岡小学校6年生	51名
(第46回)	令和2年 2月18日(火)	港小学校6年生	7名
	〈 計 〉	小学校(10校)	536名



『キャリア教育』への取組み

当顕彰会独自の事業を11月9日（土）、恒富中学校生徒6名の参加のもとにはじめて実施しました。延岡第2クレアパーク内にある(株)三井の永友会長から「会社を経営する」という内容を中心に、ご自身が経験された体験をもとに分かりやすく説明を受け、演習問題を交えて参加した皆さんは楽しんで学習しました。

そして、同じパーク内にあるミツワハガネ(株)と(株)中園工業所を見学しました。ミツワハガネ(株)では航空機の着陸装置（脚）に使われていて高い安全性と耐久性が要求される製品をつくっていて九州ではこの工場一社しかないとのことでした。また、(株)中園工業所では高品質を要求される半導体製造装置、フラットパネル大型製造装置などを最新の設備でつくっているのを目を見張りました。両社で製作した精密な製品が世界各国で使われていることや、この延岡にこのようなすばらしい会社があることを初めて知ることができました。参加した皆さんは延岡の企業の技術力の高さと頑張っている姿に大変感動しました。



「賛助会員」募集について(お願い)

野口遵顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会をどうぞよろしくお願いいたします。何口でも結構です。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 ; (個人) 1口 1,000円/年間

ご入会を希望される方は、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3丁目5-1 延岡商工会議所内

TEL (0982) 33-6666

